

「マルチステークホルダー方針」

当社は、中期経営ビジョン「Renovation2024」により、「くらしづくり・まちづくり企業」として更なる進化を遂げています。そのような状況のもと、地域社会、お客さま、従業員、取引先をはじめとするマルチステークホルダーとの適切な協働により取り組んでいます。生み出された収益・利益については、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、経済の持続的発展につながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組みを進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社は、中期経営ビジョン「Renovation2024」により、「新領域への挑戦」「開発計画のテンポアップ」「既存事業の高度化」の3つの軸により各種施策を進めていますが、主役は社員一人ひとりです。多様な人材がそれぞれの能力を最大限に発揮し、生産性向上を目指すことが、社員と当社の持続的な成長、ひいてはJR東日本グループの創り出す付加価値の最大化につながると思います。社員が自ら創意工夫を重ね、果敢に挑戦したことで生み出した収益等については、賃金の引上げを含む総合的な処遇改善をはじめとする人材投資を積極的に行うことを通じて、従業員への持続的な還元を目指します。

具体的には、社員の意欲と多様な働き方にこたえる柔軟な制度や環境を整えるとともに、2024年度にベースアップを実施しました。また、スキルアップに向けた研修等を拡充するなど果敢に挑戦する風土作りにも継続して取り組んでまいります。

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・パートナーシップ構築宣言の登録日

【2024年4月9日】

- ・パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/58075-12-00-tokyo.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組み

当社は心地よいを共に育てる地域密着デベロッパーを目指し、地域に根づいた不動産事業を通じて、心地よくくらしづくり、住みたくなるまちづくりを実現し、ステークホルダーへの価値提供を目指します。そして、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に取り組んでいきます。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組みを進めてまいります。

以上

令和6年4月16日

株式会社ジェイアール東日本都市開発 代表取締役社長 根本英紀